

普及だより

第156号

発行

八重山農林水産振興センター

農業改良普及課

沖縄県石垣市真栄里438-1

TEL 0980-82-3497 Fax 82-4142

与那国駐在

TEL 080-8579-7516

新年度のご挨拶

日頃より、農業改良普及事業へのご理解とご協力に感謝申し上げます。
令和4年度は3名の新しいメンバーを迎え、職員14名で八重山地域の農業振興にむけ、さらに努力をしていく所存でございます。農家の皆様方をはじめ、市町やJA等の関係機関と協働体制で普及指導に取り組むことが重要ですので、ご協力とご支援をお願いいたします。

八重山地域においても、他地域同様に農業を取り巻く環境は、農業者の高齢化、後継者や担い手の減少が大きな課題となっており、度重なる台風等の気象災害、生産資材等の高騰などによる生産コストの増大、新型コロナウイルスの影響なども発生し厳しいものがあります。

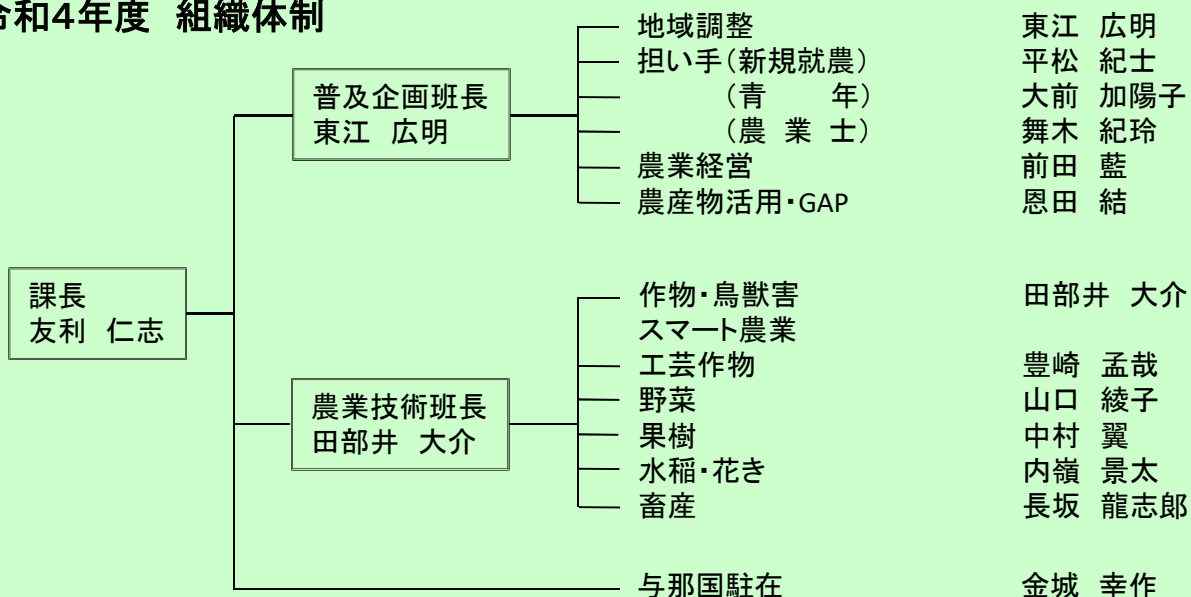
そのため、沖縄県では「沖縄21世紀農林水産業振興計画」に基づき、八重山地域の農業振興を図るため、「世界に誇れる日本最南端の優れた自然と農林水産業の共生」をきっかけ、災害に強い栽培施設の整備や高性能農業機械の導入、一括交付金を活用した農林水産物流通条件不利性解消事業等、各種施策による農業の活性化に取り組んでいるところです。

当課においては、①安定的な農業の担い手育成、②おきなわブランドの確立に向けた産地育成、③環境と調和した農業生産、④地域資源活用による農村振興の4つの基本課題の下に、17課題の普及指導計画を策定しております。また、農業生産の向上と持続性の両立を目指した国の「みどりの食料システム戦略」(令和3年5月策定)においても、環境との調和は重要なテーマであり、安全・安心の分野だけでなく、自然環境及び労働環境分野の配慮までを意識した取り組みが求められてきています。

これらの課題解決のため、関係機関のご協力もいただきながら、八重山農業の振興及び活性化に取り組んでまいりますので、今年度もよろしくお願いいたします。

八重山農林水産振興センター農業改良普及課 課長 友利仁志

令和4年度 組織体制



令和3/4年期さとうきび競作会表彰農家の紹介

『農家の部』において、次呂久栄重氏(石垣市大浜)が**沖縄県糖業振興協会理事長賞**、『多量生産の部』において、當銘悟氏(石垣市石垣)が**県1位として(独)農畜産業振興機構理事長賞**、『特別優良事例の部』において与那覇寛長氏(石垣市新川)が**沖縄県糖業振興協会理事長賞**となりました。
 なお、表彰式は令和4年8月5日に開催される予定です。

【農家の部】



次呂久 栄重氏

<出品概要>

品種: KY99-176
 植付年月日: 令和3年3月
 作型: 春植
 畝幅: 145cm

<創意工夫ポイント>

さとうきびとパインアップルをそれぞれ約150a植え付け、毎日の畑作業に追われているが、特に以下の2点を心がけています。

- ・雑草防除(植え付け直後の薬剤散布と日々の管理)。
- ・雨待ち農業ではなく、ホース等による手がけかん水。

【多量生産の部】 <<農家の部・県1位>>



當銘 悟氏

約40haのさとうきび畑を3作型及び苗取り用として計画的に植え付け、両親・兄弟で大型機械による管理・収穫を行っています。
 今期、収穫面積16.87haから1,123tの実績を上げ、県1位に輝きました。

【特別優良事例の部】



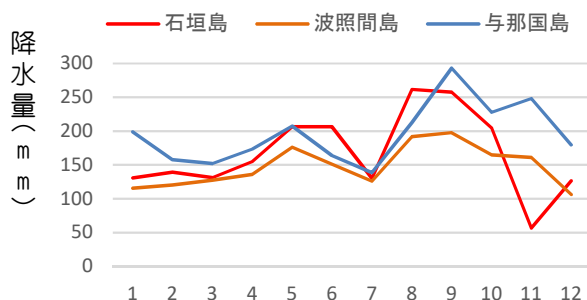
与那覇 寛長氏

さとうきび栽培歴は60年余りの大ベテラン。原料委員として45年の長きにわたり地域のさとうきび生産を支えています。また、いち早く農業機械を導入し、農作業受託を担うなど、地域の農家に寄り添う姿勢はさとうきび農家の模範となっています。(担当: 豊崎)

<さとうきび> 積極的なかん水を行いましょう

八重山地域における降水量は、気象庁が統計を開始した1946年以降、5月としては西表島、与那国島で最も多くなり、石垣島では3番目に多くなりました。1月から2月にかけての長雨もあり、今年は「雨の多い年」の印象がありますが、沖縄气象台によると7月の天候は「平年と同様に晴れの日が多い」と予報されています。八重山地域における7月の降水量は、平年だと少ない傾向にあるため、梅雨明け後の天候には注意が必要です。

八重山地域における月別降水量の平年値(1981年~2010年)



さとうきびは、気温が高くなる6月から9月にかけて分げつ茎数や根が増加し、この時期に水があればグングンと生長します。気温の高い9月頃まで、約1週間に1回の間隔でかん水を行うことにより、さとうきびの増収を図ることができます。

(担当: 豊崎)

土壌検診週間のお知らせ

7月4日～7月15日に恒例の土壌検診を行います。右記を参考に各自でサンプルを採取し、受付機関(JA、各製糖工場、普及課)へお持ちください。この時、受付機関にて受付票に必要事項のご記入をお願いします。

サンプル提出〆切:6月24日(金)

品目ごとの分析項目▽

品目	pH	EC	CEC	リン酸	塩基			ケイ酸	鉄	腐植
					石灰	苦土	カリ			
さとうきび	○	○		○						○
牧草	○	○		○	○	○				○
水稻	○	○		○	○	○	○	○	○	○
かんしょ	○	○		○	○	○				○
花き	○	○		○	○	○				○
露地野菜	○	○		○	○	○				○
施設野菜	○	○	○	○	○	○				○
パイン	○	○	(○)	○	(○)	(○)	(○)			○
アップル※	○	○		○	(○)	(○)	(○)			○
施設果樹	○	○	○	○	○	○				○

表土を2～3cm除き
深さ20～30cm厚み
2cm程度の土を採取

2cm

20～30cm

1ほ場あたり
3～5カ所採取
して混合する

石や植物を取り除いて
乾燥させ、かなづちや瓶
で砕き、ざるやふるいで
振るう(ふるいは受付
機関にもあります)

✕

○

(担当: 恩田、豊崎)

新規就農者のみなさまへ

「八重山地区農でグッジョブ推進会議(事務局: 農業改良普及課)」では、新規就農者への支援として毎年新規就農講座を開催しています。本年度も8月から全5回の講座を開催します。現在、講座内容を調整中です。興味のある方は農業改良普及課(担当: 平松)までお問い合わせ下さい。

昨年度の講座の様子



昨年度(令和3年度) 新規就農講座カリキュラム

	内容
第1回	①新規就農者向け補助事業及び制度資金等支援策紹介 ②農業に役立つ防災気象情報
第2回	①土壌診断の活用と土づくり ②総合的な病害虫の防除
第3回	①農業経営の基礎知識 ②農業共済事業について ③鳥獣害対策について
第4回	①農業委員会の取組 ②座談会: 農地確保等に関する意見交換会 ③「GAP」について
第5回	現地研修研修会 ○先輩農業者に聞く ○青年農業者の取組
閉講式	座談会 ○講座を振り返って ○農業士会の紹介 ○農業青年クラブの紹介 修了証書授与 (出席率80%以上達成者)

(担当: 平松)

新役員紹介

【八重山農業士会】

会長 花谷 友子 (石垣市)
 副会長 長嶺 園子 (石垣市)
 副会長 前津 芳生 (西表島)
 書記会計 玉代勢 元 (黒島)

【石垣島ファーマーズクラブ】

会長 東内原 航太
 副会長 土橋 玄
 書記会計 仲里 憲治

【与那国町農業青年クラブ】

会長 蔵盛 泰裕
 副会長 杉本 茂之
 // 本田 哲也
 書記 上間 睦太
 会計 前中 佳澄

【八重山地区農業機械士協議会】

会長 當銘 幸洋 (石垣市)
 副会長 大仲 祐史 (石垣市)
 会計 仲盛 裕 (小浜島)

【西表島農業青年クラブ】

会長 大浜 一将
 副会長 野原 友広
 書記会計 平井 伯享

【八重山地区農業青年クラブ】

会長 杉本 茂之 (与那国町)
 副会長 大浜 一将 (西表島)
 書記会計 仲嵩 秀文 (黒島)

【黒島農業青年クラブ】

会長 仲嵩 秀文
 副会長 宮良 貴秋
 会計 島仲 大輔



令和4年度 黒島農業青年クラブ定期総会

自己紹介

4月から新しいメンバーが加わりました!

南部普及センターから転任しました前田藍(まえだ あい)と申します。
 経営を担当します。みなさま、どうぞよろしくお願いいたします。



農業研究センター名護支所から異動してきました平松紀士(ひらまつ きし)です。
 八重山は新採用以来、2回目の赴任になります。八重山農業の発展にしっかり取り組んでいきます。
 よろしくお願いたします。



南部普及センターから八重山農業改良普及課(与那国駐在)へやってきました、金城幸作(きんじょう こうさく)です。
 与那国町の農業のために頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします!



転出者等

・崎間 浩 → 農業研究センター
 ・小橋川 寛 → 退職
 ・友寄 敬太 → 農業研究センター

・玉城 優太 → 糖業農産課

今まで
 ありがとう
 ございました!

